

フロントスポイラー（標準幅車用）

取付要領書

この度は、フロントスポイラーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本書は、フロントスポイラーの取り付け要領について記載してあります。

取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

品番

52001-37350

取り付け上の注意事項

この取り付け要領書では、安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

⚠ 警告…取り扱いを誤った（または守らなかった）場合、死亡または重大な障害を生じる可能性があるものに対する注意内容。

注意…注意事項を守らないと車両部品や装備品が損傷する可能性がある作業。

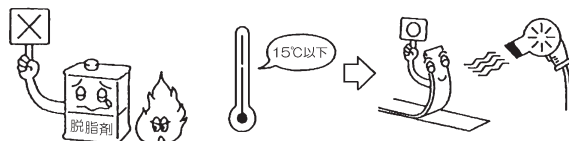
👉 アドバイス…スピーディに作業するうえで作業者に知っておいて欲しいこと。

- (1) 車両部品取りはずしに際して、クリップ等の紛失や混乱がないように部品毎に整理して、復元する際、間違えないように配慮してください。
- (2) 本書で指示した以外の車両部品を取りはずさないでください。
- (3) 傷付き防止のため、車両部品の脱着や製品を取り付ける際は、作業前に保護シートを準備し、作業は必ず保護シートの上で行ってください。また、車両部品及び製品に傷を付けないよう充分注意してください。
- (4) 取り付け面に汚れやほこり、油脂分が付いていると、脱落や剥がれの原因になります。作業は必ず、ほこりのたたない屋内で行い、貼り付け面を脱脂剤等で十分に脱脂清掃してください。
- (5) 製品を一度貼り付けてから剥がしますと、粘着力が低下しますので圧着後は剥がさないでください。
- (6) 取付後 20 分以内は雨、水等で濡らしたり、洗車しないでください。
- (7) 作業を行う前にバッテリーの（－）側ケーブルをはずしてください。
- (8) バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

特に注意していただきたい事

●脱脂及び両面テープ接着部を脱脂剤等を使用して拭く際、火気を近づけないよう充分に注意してください。

●気温が 15℃以下での作業は、両面テープの粘着力が低下し脱落、剥がれの原因になります。両面テープ部と取り付け面をドライヤーで温めてから接着作業を行ってください。



配線は

●コネクターは本体を持てはらず



●コネクターは確実に接続する



●無理に引っ張らない



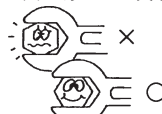
取り付け完了後は

●取りはずした車両部品は確実に復元する

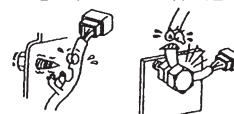


部品の取り付けは

●寸法にあった工具を使う



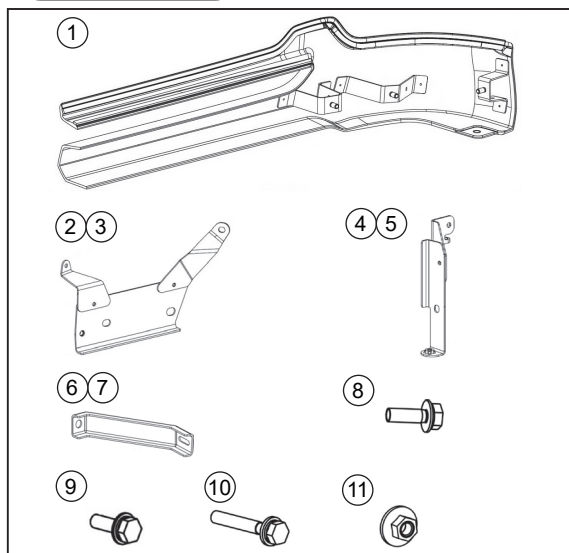
●裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



⚠ 警告

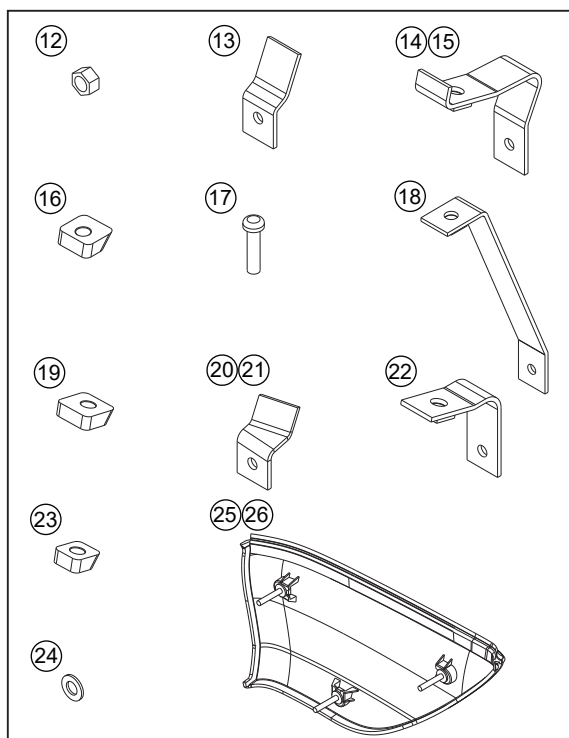
バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。

構成部品



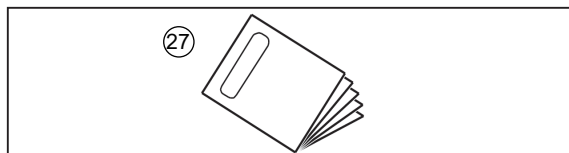
バンパー下部

No.	品 名	個数	品番
①	スポイラー	1	52102-37090
②	ブラケット A 右	1	52130-37030
③	ブラケット A 左	1	52140-37030
④	ブラケット B 右	1	52130-37040
⑤	ブラケット B 左	1	52140-37040
⑥	ブラケット C 右	1	52133-37090
⑦	ブラケット C 左	1	52134-37080
⑧	ボルト (M6 L = 21)	4	SZ119-06091
⑨	ボルト (M8 L = 25)	6	91511-80825
⑩	ボルト (M6 L = 30)	2	91671-80630
⑪	ナット M8	10	90179-08241



ステップ下部

No.	品 名	個数	品番
⑫	ナット (M6)	6	57037-37040 右 57038-37070 左
⑬	ブラケット D	2	
⑭	ブラケット E (爪有り) 右	1	
⑮	ブラケット E (爪有り) 左	1	
⑯	プレート A R2,L2 (左右共通)	各 1	
⑰	ボルト (M6 L = 25)	6	
⑱	ブラケット F (左右共通)	各 1	
⑲	プレート B R1,L1 (左右共通)	各 1	
⑳	ブラケット G 右	1	
㉑	ブラケット G 左	1	
㉒	ブラケット H (左右共通)	各 1	
㉓	プレート C R0,L0 (左右共通)	各 1	
㉔	ワッシャー	6	
㉕	ステップカバー 右	1	61415-37020
㉖	ステップカバー 左	1	61416-37020



共通

㉗	取付要領書	1	本書
---	-------	---	----

※本製品の取り付けには、別品番のプライマーが必要です。必ずプライマーを使用してください。

	品 名	個数	品 番
	PAC プライマー K-500 (接着強化剤)	1	08867-00230

取り付けに必要な工具等

- | | | |
|--------------|----------|--------------------------|
| 1) 一般工具 | 5) ウェス | 9) スケール |
| 2) クリップリムーバー | 6) 保護テープ | 10) ハサミ |
| 3) トルクレンチ | 7) 保護シート | 11) 緩み止め剤：ロックタイト 263 相当品 |
| 4) 脱脂剤等 | 8) 受け皿 | 12) ドライヤー（外気温 15° 以下の場合） |

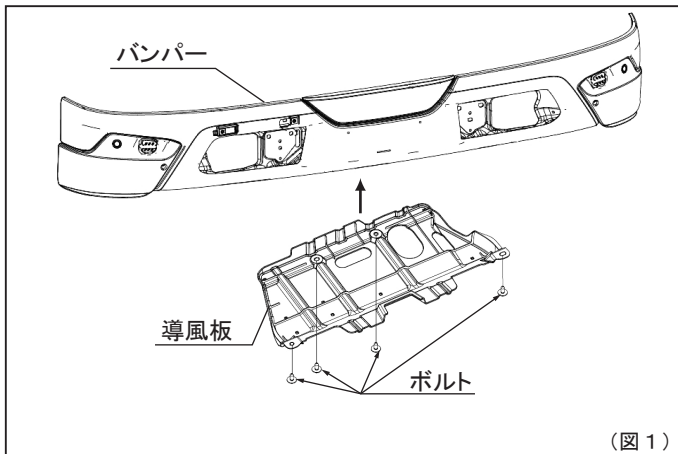
取り付け上の注意事項

フロントスポイラーを取り付ける際、バンパー本体・キャブに傷を付けないように注意してください。

始業点検

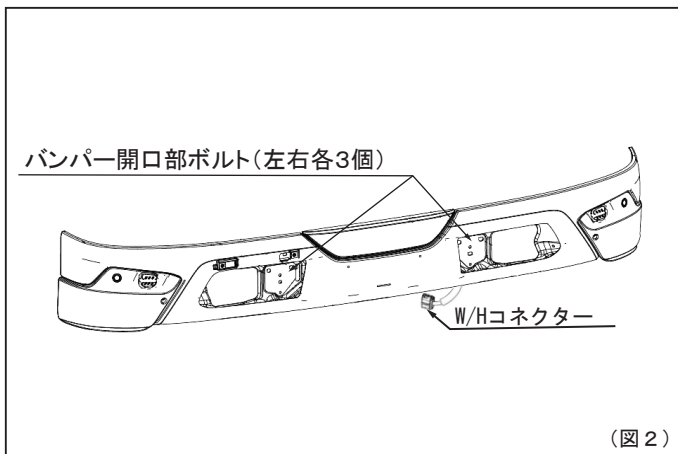
フロントフォグランプ、インテリジェントクリアランスソナーシステム等、電気系統の作動確認を実施してください。

取り付け要領



■導風板付車

1. ボルト4個を外して導風板を取り外します。取り外したボルトは再使用します。(図1)



2. バンパーの取り外し(図2)

■共通

- 1) バンパー前面開口部のボルト(左右各3個)を取り外します。取り外したボルトは、再使用します。

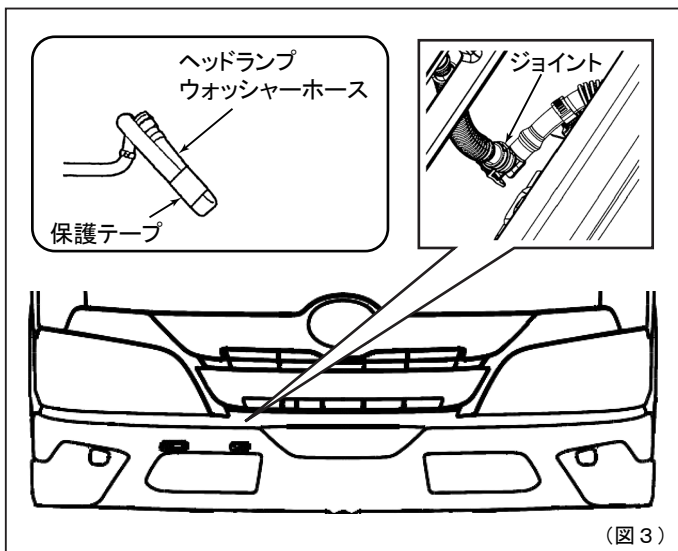
■インテリジェントクリアランスソナーシステム付車およびフォグランプ付車

- 2) W/Hコネクターを取り外してください。

■ヘッドランプクリーナー付車

- 3) フロントバンパーカバー裏にある、ジョイントロックを外し、ヘッドランプウォッシャーホースを折り曲げ、液漏れしないように保護テープ等で固定してください。

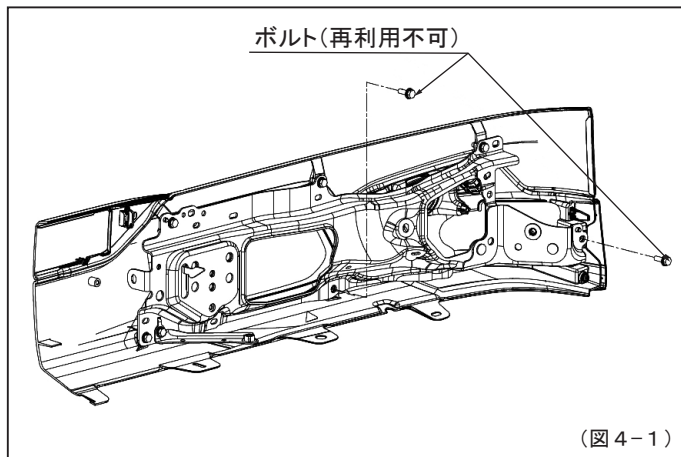
(図3)



👉 アドバイス

- ・ジョイントロックを外す際、ウォッシャー液を受ける受け皿を準備してください。
- ・ヘッドランプウォッシャーホースは、下図の様に爪部を押して取り外してください。





■ 共通

※図は右側を示しています。左側も同様に作業してください。

3. ブラケットA②のバンパーステイへの取り付け

- 1) 取り付け前に、ボルト(2個)を取り外す。

取り外したボルトは再利用不可。

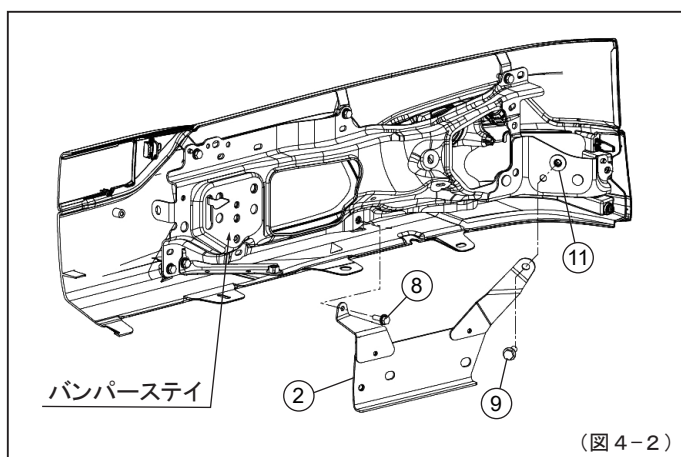
(図4-1)

注 意

バンパーのボルトを取り外す際は、電動工具(インパクト)等で勢いよく外すと、バンパー締結部が破損する可能性がある為、規定トルクの範囲内において、手動工具(ラチェット、レンチ等)で取り外してください。規定トルクで緩まない場合はドライヤーでボルトを温めてください。

<規定トルク>

取り外しトルク : 6 N・m 以下



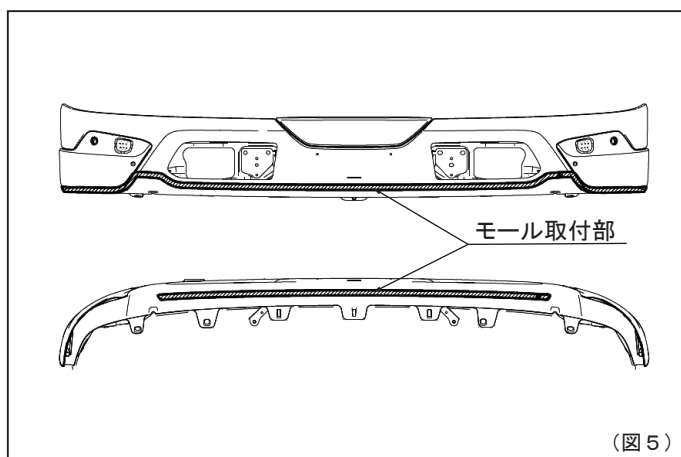
- 2) ブラケットA②を、ボルト⑧、ボルト⑨およびナット⑪を使用して、バンパーステイへ組み付ける。(図4-2)

注 意

ボルトの締め付けトルク

⑧ : $T = 4 \sim 5.8 \text{ N}\cdot\text{m}$

⑨ : $T = 18 \text{ N}\cdot\text{m} \pm 30\%$



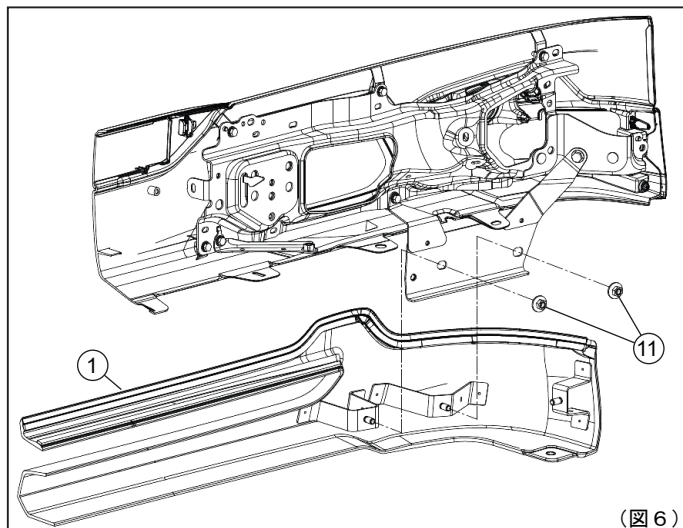
4. スポイラーのバンパーアッシーへの組み付け

■ 素地バンパー車

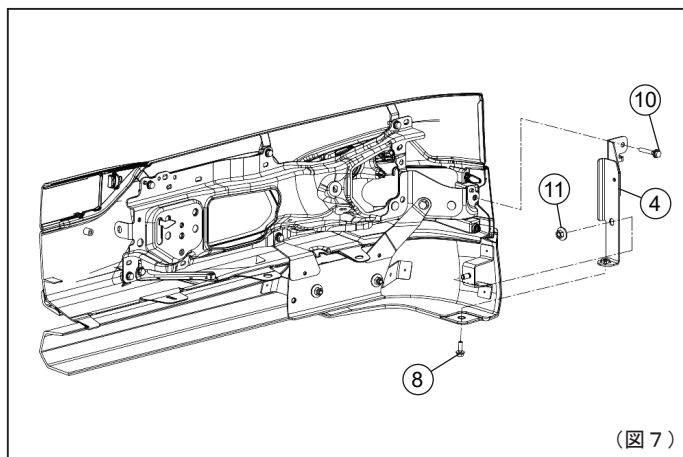
- 1) バンパー下部のモール取付部を脱脂材等で脱脂し、プライマーも塗布する。

なお、現車のバンパーが塗装バンパーの場合はプライマーは不要。(図5)

現車のバンパー	脱 脂	プライマー
塗 装	○	×
素 地	○	○



(図 6)



(図 7)

■ 共通

※図は右側を示しています。左側も同様に作業してください。

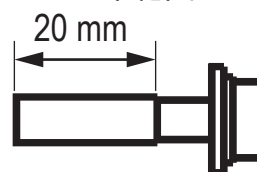
- 2) スポイラー①をナット⑪(2個)で仮締めする。(図6)
- 3) スポイラーとバンパーにブラケットB④をボルト⑧とボルト⑩とナット⑪で仮締めする。(図7)

なお、ボルト⑩のネジ部に緩み止め剤(ネジロック剤)を塗布してください。

注 意

緩み止め剤をボルトのネジ山(イラスト部)に塗り漏れなく塗布してください。

ネジ山塗布範囲



緩み止め剤：ロックタイト263相当品

- 4) モールの両面テープの剥離紙をはがしてモールとバンパーの位置を確認しながら接着する。この時バンパーとモールに隙間ができないように手で加圧しながら作業する。

注 意

商品の脱落、はがれを防止するため、気温が15℃以下の場合は両面テープ部または取り付け位置をドライヤー等で人肌程度に温めてから接着作業を行ってください。

両面テープの圧着は49N以上で行ってください。49N以上で圧着しないと、両面テープがはがれ、隙間が発生する恐れがあります。

- 5) 4)の作業完了後、2)、3)で仮締めしたボルト⑧⑩とナット⑪を本締めする。

注 意

ボルトの締め付けトルク

⑧ : $T = 4 \sim 5.8 \text{ N}\cdot\text{m}$

⑩ : $T = 4 \sim 5.8 \text{ N}\cdot\text{m}$

ナットの締め付けトルク

⑪ : $T = 18 \text{ N}\cdot\text{m} \pm 30\%$

6) バンパーの取り外しと逆の手順でスポイラー付きバンパーを車両に組み付ける。

■インテリジェントクリアランスソナーシステム付車およびフォグランプ付車

7) W/Hコネクターを取り付けてください。

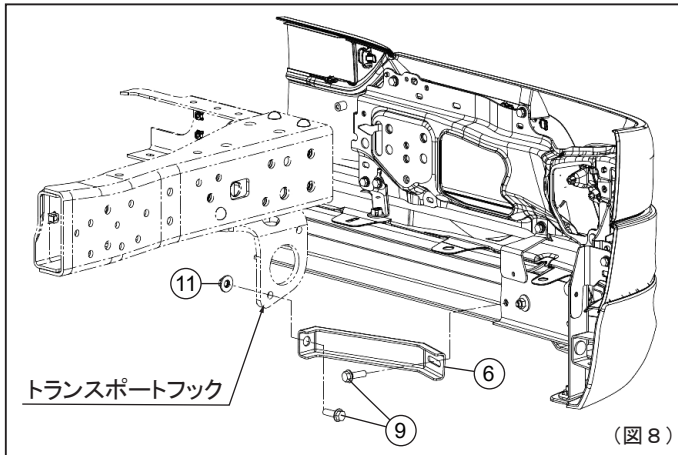
■ヘッドランプクリーナー付車

8) ウォッシャーホースを取り付けてください。

注 意

ボルトの締め付けトルク

$T = 18 \text{ N}\cdot\text{m} \pm 30\%$



5. ブラケットC⑥の組み付け(図8)

ブラケットC⑥をトランスポートフックにボルト⑨(2個)とナット⑪で組付ける。

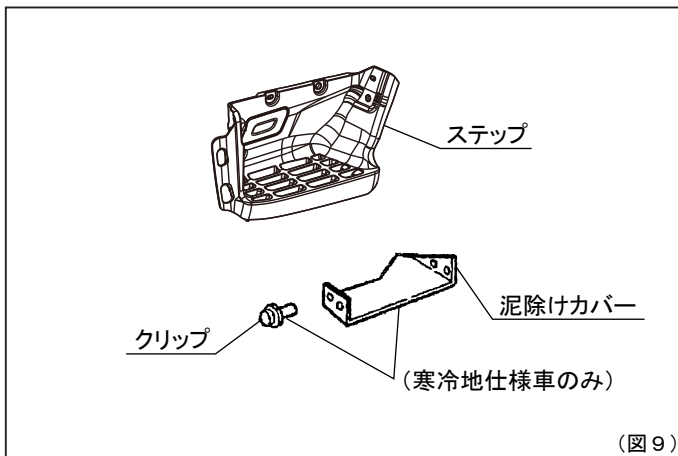
注 意

ボルトの締め付けトルク

$T = 18 \text{ N}\cdot\text{m} \pm 30\%$

■導風板付車

6. バンパー下の導風板を組み付ける。



7. ステップカバーの取り付け

👉 アドバイス

この作業はキャブをチルトして行った方が容易に出来ます。

■寒冷地仕様車

1) ステップ下の泥除けカバーを取り外すため、クリップをゆるめて外します。

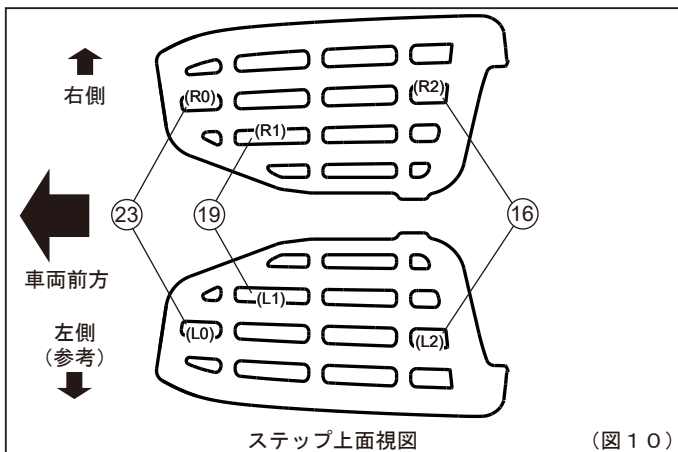
(クリップ2個)(図9)

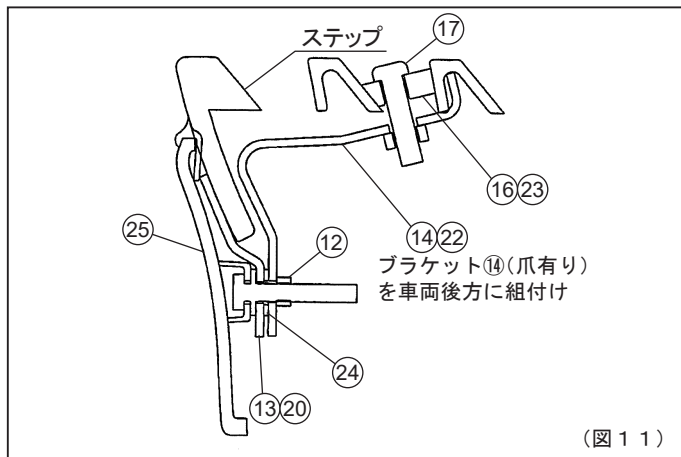
■共通

2) ステップの水抜き穴にプレートA①⑥・C②③を取り付け、ボルト①⑦を仮止めする。

続いてブラケットE①④・H②②をステップに当て、ボルト①⑦を本締めする。

(図10、図11、図12)

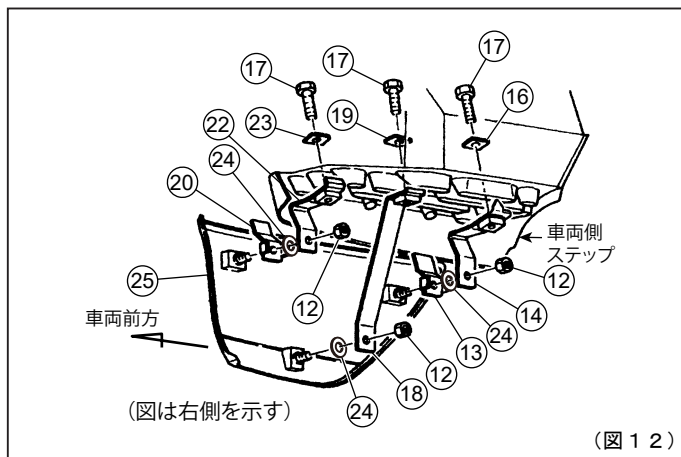




- 3) ブラケットD 13・E 14・G 20・H 22およびワッシャー24をカバー本体25より出ているT型ボルトにナット12で締め付ける。
この時ブラケットD 13とE 14、G 20とH 22でステップを挟み込む。(図11、図12)

注 意

ナットは一度締め付けたら抜けませんので注意してください。



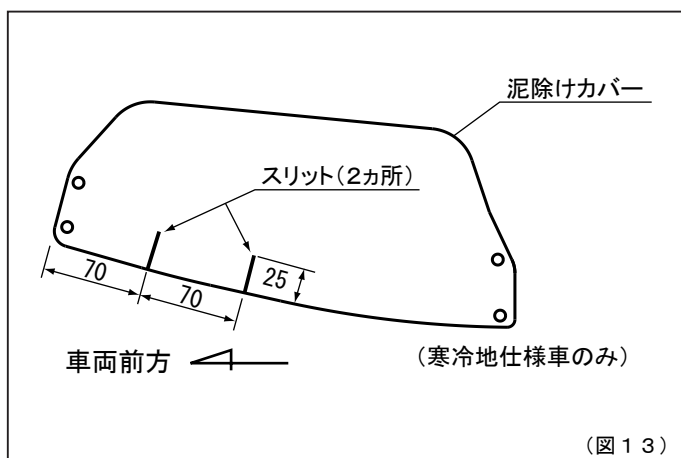
- 4) ブラケットF 18およびワッシャー24をカバー本体25より出ているT型ボルトにナット12で締め付ける。(図12)
- 5) ブラケットF 18をステップにあて、ステップ水抜き穴にプレートB 19をはめてボルト17で締め付ける。(図10、図12)

■寒冷地仕様車

- 6) カバーをステップに付け終わったら、はずしておいた泥除けカバーにハサミ等で、スリットを入れクリップで取り付ける。
(寒冷地仕様車のみ)(図9、図13)

注 意

ボルトの締め付けトルク
T = 5.5 N・m ± 30%



取り付け完了後の点検・注意事項

- (1) バッテリーの（－）側ケーブルを接続してください。
- (2) フロントフォグランプ、インテリジェントクリアランスソナーシステム等、電気系統が正常に機能するか点検してください。

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。
車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
※車両システムの初期化には、G T S等のツールが必要な場合があります。

周辺監視モニター登録設定について

■インテリジェントクリアランスソナーシステム付車

周辺監視モニター登録設定を行ってください。

修理書内 **周辺監視モニター** > **インテリジェントクリアランスソナーシステム** > **登録設定**を参照ください。

注 意

周辺監視モニター登録設定を行わない場合、周辺監視モニターが正常に作動しない可能性があります。